

富山市のアマ劇団、文芸座が南極で世界初の演劇公演を行ったことで、現地の民間キャンプ「ユニオン・グレイシャー」に注目が集まっている。南極点や大陸最高峰の登山に挑む冒険家たちの拠点となるだけでなく、観光客も受け入れている。どんな施設なのか。公演に合わせて現地を訪れ、キャンプ内を探検してみた。

拠点探訪

南極 ユニオン・グレイシャー

「ここでガイドをやりたくて、昨年ようやく願いがかないました」。雪焼けした顔に笑顔を浮かべるのは、ユニオン・グレイシャーで登山などのガイドを務める宮崎淑子さん(36)。スタッフ唯一の日本人で、父が氷見市で働いていたことがあるという富山にゆかりのある女性だ。マッキンリーなど、高山制覇の経験も豊富という。

氷の滑走路

キャンプのスタッフは約70人。宮崎さんのようなガイドから、パイロットや整備士、気象予報士、コックなど各分野のプロフェッショナルが運営を支えている。ゲストサービスマネジャーのキャロライン・ペイリーさん(52)は、「お客さんの希望をかなえられるよう、常にベストを尽くしているわ」

食堂テントの使い方を説明する 宮崎さん



「挑戦者」を全力で応援

—上—

と話す。実際、劇団文芸座の南極公演では、あり合わせの板材と角材を組み合わせ、食堂用テントに階段状の客席を半日足らずで設けた。たいがいことは、知恵と経験で乗り切るといふ。

そんなユニオン・グレイシャーには、チリから飛行機で向かう。南米大陸最南端の町、プンタ・アレナスから貨客機イリュージンで4時間半。着陸するのは氷の滑走路だ。天候が悪ければ飛ばないが、良すぎても滑走路の氷が緩むため、出発が見送られる。条件は



プロが知恵と経験提供

到着後、専用の車で約30分ほど進むとロスマン山(1345m)の麓にあるキャンプが見えてく

かなり厳しい。実際、自分たちのフライトでは、無事着陸すると、機内に大きな歓声と拍手が起こった。

メモ 南極ツアー 南極は現地発着のツアーで個人でも訪れることができる。アルゼンチンのウシュアイアか、チリのプンタ・アレナスが出发点。船や飛行機の組み合わせで上陸する。料金は、南極半島を巡るツアーで安い時期を選べば50万円台から。出発地までの交通費は自己負担となる。問い合わせはトライエールインターナショナル、電話03(54339)6267。

る。真っ青な空、真っ白な大地に、カラフルな宿泊テントが並び、目に鮮やかだ。かまぼこ型の黒い食堂テント、トイレ棟、シャワー棟も点在し、「基地」という雰囲気もたっぷり。南極の夏に当たる11月〜1月だけ開設している。

運営するのは、アメリカに本社

安全で确实

自分たちが多くの支援で制覇を成し遂げたことから、逆に世界の冒険家を応援する側に回ろうと、ALEを興した。氷の滑走路に飛行機を着陸させる技術確立し、以来、南極には500人以上、ビンソン・マッシュの頂上には千人以上を案内している。ユニオン・グレイシャーは「挑戦者の宿」なのだ。

それだけに、挑む者には何より優しい。昨年1月に自転車での南極到達を成功させた神戸市の会社員、大島義史さん(35)は「スタッフが全力で知恵を出し、安全で确实なルートを考えてくれた。スタッフの支えなしではたどり着けなかった」と振り返る。

プロペラ機も常駐しており、南極点や登山のベースキャンプそばまで連れていってくれる。手軽に南極観光を楽しむ客から、過酷な登山ルートを選ぶ冒険家まで、それぞれが望むやり方でベストなサポートをしてくれる。南極で何をするか、どう挑むか。あらゆる要望にプロフェッショナルたちが応えてくれる。

「下」は16日に掲載します。



ロスマン山の麓に客用テントが並ぶ。空の青や雪の白とのコントラストが鮮やかだ



ユニオン・グレイシャーキャンプで働く登山客。二つの黒いかまぼこ型テントが食堂テント



氷の滑走路に着陸したALEのイリュージン